



**2月定例
県議会**

**小島「代表質問で県政を質す」
新年度予算などを可決**

2月16日に開会した2月定例県議会は、3月16日までの本会議で、総額8、625億円余の29年度一般会計予算案、屋外広告物条例の一部を改正する条例案、追加の補正予算案、監査委員の選任など知事提出の79議案を審議し、いずれも原案どおり可決・同意しました。

3月14日の本会議では、採決に先立ち県の消防防災ヘリコプター「アルプス」の墜落事故で亡くなられた9名の隊員に哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

会期末の役員改選により、常任委員会構成は別表のとおり決定しました。



本会議でヘリ事故犠牲者に黙祷を捧げる



下沢副議長のもと質問する小島康晴代表

現を重点テーマに予算編成に当たった。「県民参加と協働」が県政の重要テーマだ。

【小島議員】知事の考える地域の振興とは何か。

【小島議員】新年度当初予算案の特徴、知事が県民に一番訴えたいことは何か。

【阿部知事】人口減少対策、地域経済の活性化、多様な働き方・暮らし方の創造、個性豊かな地域づくり、安全安心な社会の実

現を重点テーマに予算編成に当たった。「県民参加と協働」が県政の重要テーマだ。

【阿部知事】それぞれの地域に暮らす方々が地域への愛着、誇りを持つとともに、将来に向けてその地域における夢や希望を持ち続けることができることが地域振興の姿であると思う。

進めよう議会改革！！

選挙区等調査特別委員会では、2月17日に第8回委員会を開催し、総定数に係るこれまでの検討内容の確認や取扱いをどうするかについて、各

「下伊那郡と飯田市」「飯山市・下水内郡と中野市・下高井郡」の4地域に加え、地元から要望が出て「軽井沢町・

3月16日の第10回委員会では、延べ5つの地域に、6月定例会前までに委員が出向き、当該地域の市町村長及び議会関係者との意見交換・調査活動を行い具体的な検討に入っていきます。

御代田町と小諸市」とすることを決定しました。

【尾崎警察本部長】28年中における65歳以上高齢運転者の免許返納件数は5、013件で、前年より1、096件増加した。運転

知事に緊急申し入れ

子どもの医療費現物給付化を

1月20日、我が国は、国が30年度から未就学児分に限って補助金の減額措置を廃止することを決めたことを踏まえ、「すべての市町村が義務教育終了(中学校3年生)まで子どもの医療費の現物給付(窓口無料化)を実施できるように支援をすべき」などと申し入れを行いました。

これに対し阿部知事は「できるだけ足並みをそろえていけるよう市町村と一緒に考えたい」と答えました。

県は、1月27日に「検討会」を設置し、窓口で支払わなくて済む仕組みや子どもの対象範囲をどうするかなどの議論を進めています。

当会派提出の子ども医療費に係る意見書案は、3月2日、自由民主党県議団が反対するも可決し、内閣総理大臣などに提出されました。

免許センターでの日曜窓口の開始や2月からは代理人による返納申請を始めた。今後、高齢者の移動手段の確保など、高齢者支援対策を推進していく。

【小島議員】学習指導要領が10年ぶりに改訂され30

年度から実施されるが、県教委としてどのように対応していくのか。

【原山教育長】ICT環境の充実、地域や家庭との連携・協働、働き方改革などを着実に進め改革の実現を目指していく。

県政対話集会inしもる

1月23日、小諸市「市民交流センター」で「信州・新風・みらい」による2回目の県政対話集会を開催、小諸市民を中心に約80人が参加しました。

小諸市区選出の山岸喜昭議員司会のもと、小島

康晴代表の主催者あいさつに続き、当会派の13名が自己紹介を行い、その後、対話形式で行われた意見交換では、13項目に及ぶ貴重なご発言をいただきました。

「子どもの頃から歯科保健や口腔衛生などの教育、啓発活動が有効と思うが」とのご意見に対して、「議員提案で『歯科保健推進条例』を制定し施策を充実させているが、さらにしっかりとやっていきたい」。また、「農地の保全対策は、農地中間管理機構

6月定例会日程(予定)

- ▽6月22日 開会
- ▽27～30日 一般質問
- ▽7月3～6日 委員会審議
- ▽7日 採決・閉会

代表に下沢議員

下沢順一郎議員が、申し合わせにより副議長職を辞任したことを受け、会派内人事を協議した結果、代表に再就任しました。小島康晴前代表は、代表代行を担うことになりました。

常任委員会等構成 (○委員長 ○副委員長)			
総務企画警察	小島康晴	下沢順一郎	◎石和 大
県民文化健康福祉	◎小林東一郎	依田明善	寺沢功希
環境産業観光	山岸喜昭	花岡賢一	
農政林務	高橋 宏	竹内久幸	
危機管理建設	◎埋橋茂人	今井愛郎	
文教企業	荒井武志	◎堀場秀孝	
議会運営	高橋 宏	小島康晴	○今井愛郎
決算特別(内定)	竹内久幸	◎寺沢功希	花岡賢一



子どもの医療費で申し入れ

この度の県防災ヘリ墜落事故により亡くなられた皆様に哀悼の意を表します。また、私も公務災害で家族を失った者であり、ご家族・ご関係の皆様のご心痛はいかばかりかと、心よりお見舞い申し上げます。

3期目の任期も早いもので折り返し間近となりました。平成29年度は、議会運営委員と総務企画警察委員を担当します。引き続き「県民の生活が第一」を基本に、誠心誠意取り組んでまいります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

小島康晴の 県政レポート VOL 40

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 信州新風みらい

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP:http://shinshinmirai.com
E-mail:info@shinshinmirai.com

2月県議会

二度目の代表質問に立つ

集落からの地域再生を強く訴える

代表質問

県政報告第40号をお届けします。今回は会派を代表し、私としては三年ぶり二度目の代表質問を行いました。質問持ち時間60分に、この三年間の諸活動の集大成との思いを込め、理事者の姿勢を質しました。1面記事とあわせてご覧下さい。

新年度予算案について

県民生活の現状

【小島】県民生活の現状等をどう捉えているか。
【知事】県民生活全体としてみれば全国的に見て比較的高い水準にある。

総合計画の評価

【小島】「しあわせ信州創造プラン」の成果は？
【知事】地域経済の活性化や雇用の創出に取り組み、有効求人倍率の上昇など成果となっている。

地域振興局のあり方

【地域振興費】の配分
【小島】配分の指標に、県庁からの時間・距離を加えるべき。
【企画振興部長】来年度

の事業実績や地域の要望等を踏まえ検討したい。

一層の分権化

【小島】あたかも県庁が地域振興局に有るかのようない層の分権化を求めたい。
【知事】地域振興局設置により一歩前進したと考

リニア中央新幹線と地域活性化

【小島】リニアを活かすには、伊那谷がまるごと駅前であるような発想が肝要だ。県としてのどのように地域活性化に取り組むか？
【知事】地域主体で市町村が地域の将来像を具体化することが重要で、県も一緒になって考えてい

持続可能な地域社会

移動手段の確保

【小島】高齢者が自分で運転しなくてもよい暮らし方を模索する必要があり。
【企画振興部長】「地域における移動手段の確保に関する検討会」を立ち上げ検討したい。

子どもの貧困

【小島】直接的な子育て支援と並行して、地域のセーフティネットをもう一度張り直す必要がある。
【知事】将来世代応援県民会議(仮称)を立ち上げ、地域振興局ごとに地域プラットフォームを構築したい。

【小島】天皇皇后両陛下にご訪問いただいた満蒙開拓平和記念館への継続的な支援を望む。
【知事】ご訪問は関係者にとって大変励みになった。平和の尊さが次世代に語り継がれるよう取り組んでいく。

集落からの再構築

集落を基本に

【小島】地域活性化のためには、地域の基本となる集落や町内会の単位から再構築していくことが

総務企画警察委員会の論議から

警察委員会

【質問】子どもを性被害から守るための条例の適用状況は？
【答え】現時点で適用事例はない。
【質問】警察署の建て替えの計画はどのようか？
【答え】今後整備を必要とする6署のうち、飯田は建替、阿南は大規模補修による長寿命化を目指している。

総務企画委員会

【質問】「ネットワーク強靱性向上対策事業」とは？
【答え】セキュリティ向上のため、「仮想デスクトップ」という技術を導入する。
【質問】「公共交通検討会」の取り組みは？
【答え】移動手段の確保を幅広く考えるため、交通事業者、行政や住民など多様な主体が役割分担する検討を行う。
【質問】地域振興費の具体的運用は？
【答え】地域振興局長が用途を決定する。事業が重要である。

【知事】同感であり、新年度、市町村と研究会を設置して検討を深めたい。
【企画振興部長】「地域における移動手段の確保に関する検討会」を立ち上げ検討したい。

【小島】知事はどういう長野県を目指すのか。
【知事】長野県としての強み、個性を認識して活かしていくことが重要。

次期総合計画の策定

【小島】知事はどういう長野県を目指すのか。
【知事】長野県としての強み、個性を認識して活かしていくことが重要。

信州教育の再生

【小島】小さいころから働くことの大切さを学ぶことが大切と考える。
【教育長】新しい学習指導要領も踏まえ、子どもが働くことの大切さを実感できるように努めたい。

教師の十戒を参考に

【小島】3年前の代表質問でも「教師の十戒」を基に信州教育の再生を訴

固まれば予算の再配当を行う。
【要望】地域振興局長が決裁できる仕組みにすべき。
【質問】元気づくり支援金の2千万円余減額補正額が確定したのはいつか？
【答え】1月末時点である。
【要望】年度後半でも追加募集するなど予算が活かせる検討を求めらる。

吉川県議が会派を離脱

下伊那郡区選出の吉川彰一県議は、無所属で活動したいとの意向により、平成28年度末をもって当会派を離脱しました。平成22年の補欠選挙で当選以来ともに同じ会派で活動してきましたが、このような事態になり誠に残念です。
14人で力を合わせ、15人以上の成果があるよう頑張つてまいります。



質問の中で紹介させていただいた故毛涯章平先生の「教師の十戒」です。

- 子どもをこばかにするな。教師は無意識のうちに子どもを目下のものと見てしまふ。子どもは、一個の人格として対等である。
- 規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまふな。必ず一方を開けてやれ。さもないと、子どもの心が窒息し、枯渇する。
- 近くに来て、自分を取り巻き子たちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
- ほめることばも、叱ることばも真の「愛語」であれ。愛語は、必ず子どもの心にしみる。
- 暇をつくって、子どもと遊んでやれ。そこに、本当の子どもが見えてくる。
- 成果を急ぐな。裏切られても、なお信じて待て。教育は根くらべである。
- 教師の力以上には、子どもは伸びない。精進を怠るな。
- 教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑いと、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子どもの心を暗くする。
- 子どもに素直にあやまれる教師であれ。過ちはこちらにもある。
- 外傷は赤チンで治る。教師の与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。